

機種によってはドライバーが提供されない可能性も

安易な Windows 10 アップグレード予約は危険！ 必ず確認を

文● 松野/ASCII.jp



Windows 10 の無償アップグレード、本当に予約しても大丈夫？

マイクロソフトの次期 OS「Windows 10」の無償アップグレード予約が開始されている。Windows 8.1 および Windows 7 を搭載した PC では、デスクトップ画面右下のインジケータに「Windows 10 を入手する」というメニューが Windows Update 経由で提供されており、ここから予約が可能だ。



インジケータにメニューが表示されている

ただし、無償アップグレードにはできるかぎり慎重になることをオススメしたい。なぜなら、「Windows 10 を入手する」ボタンが表示されているからといって、必ずしもそのモデルがアップグレード可能だと保証されているわけではないからだ。無用なトラブルを避けるため、この記事では無償アップグレードに関する主な注意点を紹介していこう。

最低システム要件は Windows 7 とほぼ変わらないが……

Windows Desktop Minimum Hardware Requirements



システム要件は Windows 7 とほぼ変わらず。CPU が OS の機能に対応しない場合が考えられるので、そこは注意

現在発表されている Windows 10 の最低システム要件は、CPU クロックが 1GHz 以上、メモリー容量は 32bit 版では 1GB、64bit 版では 2GB。ストレージの空き容量は 32bit 版では 16GB、64bit 版では 20GB 必要だ。ディスプレイは 8 型以上（解像度 1024×600 ドット）をサポート。また、無償アップグレードには 3GB 程度のストレージ空き容量が必要になる。

最低要件は Windows 7 からほぼ変わっておらず、Windows 7 以降の OS が動作する PC なら性能的には問題なくクリアできるだろう。ただし、ドライバー提供の問題や、**CPU そのものが Windows 10 の機能をサポートできず、アップグレードに失敗する可能性がある**ことには気をつけたい。実は Windows 8 のリリース時にも、従来 OS からの移行で似たような問題が起きている。該当しそうなユーザーは、今後発表されるだろう詳細なシステム要件を確認した上でアップグレードを検討するほうが賢明だ。

アップグレードでメーカー保証外に!? ドライバー提供されない機種も

製品情報 ショッピング サービス&サポート 活用情報 マイページ

Windows 10 サポートのご案内

Windows 10 へのアップグレード

※NEC製パソコントラブルのWindows 10アップグレードに関する詳しい情報は、2015年夏頃までに本ページで順次公開予定です。

アップグレード対象製品について

NECパソコンのWindows 10へのアップグレード対象製品は、以下のとおりです。

- 2013年4月以前に発売されたLAVIE (LAVIE)・LAVIE Tab W (LAVIE Tab W)・VALUESTAR

ただし以下の機種は、Windows 10 アップグレードの動作保証はいたしません。

PC-TW710M1L・PC-TW710R1S・PC-TW5088AS

※ご利用に際しては注意事項、取扱説明書が必ずある場合があります。詳細につきましては後日掲載します。

- 2013年4月以前に発売されたLAVIE・VALUESTARは、Windows 10 の動作保証はいたしません。

なお、NECパソコンの最新情報は112Iwerks.comの製品情報販売ページで確認することができます。

参考情報

- Windows 10に関するマイクロソフト提供情報
- マイクロソフト Windows 10に関する情報はこちら (リンク先: マイクロソフト社)

NEC PC は無償アップグレードに関するサポートページを公開中。2013 年 4 月以前に発表した PC は動作対象外とする旨が記されている。Windows 10 対応は、メーカーによっては公表に時間がかかる見込みだ

Windows 10 の対応状況を記載したメーカーサポートページは、現状では NEC PC が公開しているものの、ほとんどのメーカーは対応できていない。

メーカーによっては公表に多少時間がかかる見込みで、OS のリリース日である 7 月 29 日に間に合うかどうかは微妙なところだ。

ただ、自分が使用しているメーカー製 PC やタブレットを Windows 10 にアップグレードするつもりなら、そうしたサポート情報に目を通すことから始めたい。

一部のハードウェア（使用パーツ）に対しては、Windows 10 用のドライバーが提供されないおそれがあるからだ。

いくつかのメーカーに確認したところ、一部の製品はハードウェア構成の関係上、Windows 10 への対応を見送らざるを得ない場合があるようだ。

タブレットでは特にその傾向があるようで、注意する必要がある。

また、基本的にメーカーは「自社で販売した OS に関してはサポートを実施する」方針で動いているため、**無償アップグレードを実施したデバイスはサポートの対象外となる可能性がある**という。

現在のところ、Windows 10 に無償アップグレードしたデバイスをもとの Windows 7 や Windows 8.1 にダウングレードできるかどうかは不明だ。

仮にデバイスがサポート対象外となっていた場合、取り返しがつかなくなることも考えられるので、慎重になったほうが良いとは言える。

アップグレードはしばらく後でも遅くないのでは？



予約は慎重に

一見親切そうにも見える「Windows 10 を入手する」ボタンだが、ユーザーの PC 環境によっては無用なトラブルを引き起こすこともありえるので、注意が必要だ。少なくとも、各メーカーから今後提供されるサポート情報を確認した上で予約しても遅くはない。無償アップグレード期間はリリースから 1 年間を予定しているので、くれぐれも導入は慎重に！